

岩手県滝沢市でアイドルグループAKB 48のメンバーらがのこぎりで切りつけられた事件から約1ヶ月、他の関連グループに先がけて乃木坂46が握手会を再開した。大幅に増やされた警備員、手荷物検査、金属探知機に加え、柵越しに握手するなど、“空港並み”の厳戒態勢が敷かれた中での開催となった。AKBを初め、SKEなど他の姉妹グループの握手会再開について議論が沸騰する中、AKB 48グループ総監督の高橋みなみは「ファンのみならず築いてきた絆とメンバーの思いを舐めないでほしい」と、“会に行けるアイドルAKB”の要ともいべき握手会の存続を訴えるかのようなコメントをしている。

実は事件の少し前、彼らと親しい演出家のテリー伊藤氏は、高橋さんらと会う機会があり、“恋愛禁止”や激務をこなす彼らのグループに対する姿勢を聞いたことがあった。「高橋だって、遊びたい時もあるだろ？」「いやいや遊びたいなんて全然思わないですよ。だってこんなに楽しいことをこんなに真剣にやって、こんなに皆に喜んで貰えるなんて、こんな素晴らしい人生って、他のどこにもないと思います。だから遊びとか恋人とか、我慢してるわけじゃなくて、全然こっちの方がいいんです」。なるほど聖書が強調する

「それは、あなたがたが責められるところのない純真な者となり、曲った邪悪な時代のただ中  
にあって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、命の言葉を堅く持って、彼ら  
の間で星のようにこの世に輝いている。このようにして、キリストの日に、私は自分の走っ  
たことが無駄でなく、労したことも無駄ではなかったと誇ることができる。」

ピリピ人への手紙 2章 15-16 節：口語訳、

とは正にこれだと得心した。教会はつまらないところと考えている人や、洗礼を受けても教会に来ない人、神を信じたら色々と束縛されると思う人は多い。しかしそれは全くの誤解である。我々の罪の身代わりとなった救い主キリストを信じたら、まず我々は「神の子たち」という最高のグループに入部できる。そしてキリストが下さる聖霊の力によって、皆に喜んでもらえる素晴らしい善行ができる。時には試練もあり、したいことが出来ない時もあるだろう。しかし、いつもそばにいて“会うことが出来る”神の力で信仰の道を駆け上がり、やがてスターとなり、苦勞が報われ誇ることが出来るのだ。こんな素晴らしい人生はほかにはない。 2014-6-26

